

2008年1月1日から 119番での第三世代携帯電話・IP電話位置情報通知システムを導入します！

津市消防本部通信指令センターでは、現在、ご家庭などに設置されている固定電話や公衆電話からの119番通報を受信した場合には、その通報者(発信者)の位置が把握できるシステムを導入していただきますので、いち早い対応が可能となっておりますが、2008年1月1日からは、第三世代の携帯電話やIP電話から119番通報した場合にも、同様に位置情報が取得できるシステムを導入します。

これまで携帯電話やIP電話から119番通報した場合、移動可能というそれらの特性から、場所の特定に時間を要し、通報者が場所を正確に伝えられない場合には、災害現場への到着が遅くなることもありましたが、本システムの導入により第三世代の携帯電話やIP電話からの緊急通報の際も、通報者の位置情報が早期に把握できるため、より一層みなさんの安全・安心をお守りすることが出来ます。

第三世代の携帯電話・IP電話位置情報通知システムの概要
第三世代の携帯電話・IP電話位置情報通知システムは、携帯電話やIP電話

からの119番緊急通報があった場合、音声通話と併せて、携帯電話基地局やGPS情報などをもとに、通報者の発信位置に関する位置情報を把握するシステムです。

対象となる電話

第三世代の携帯電話

IP電話・直収電話(電話番号が「050」で始まる電話サービスを除く)

現在お使いの携帯電話が第三世代の携帯電話かどうかについては、最寄りの携帯電話会社でお確かめ下さい。なお、第三世代の携帯電話でGPS測位方式対応機種については、より精度の高い位置情報が発信されますが、屋内などの理由でGPSが受信できない場合は、位置情報の精度が低くなります。

【注意下さい】

携帯電話などから一八四を押して一九をダイヤル(非通知発信)した場合、位置情報を把握することができませんので注意下さい。



津市防火協会が 京都市 市民防災センターを視察

津市防火協会(吉川晴会長・会員四九五事業所)は、11月22日に京都市南区の京都市市民防災センターにおいて、同協会の24事業所の防災担当職員35名が参加して視察研修を行いました。

同センターでは、参加者全員が、「地震体験室」、「強風体験室」、「避難体験室」での防災体験や「3D大地震」、「放水ノズル型の実火災再現」などのシュミレーションを体験しました。

中でも、煙体験コーナーでは、的確な避難ができず、「誘導標識」に頼り、姿勢を低くしハンカチなどで口を覆いながら真剣な表情で、会員らは災害時においての様々な貴重な体験をしていました。



~ デージー分団を全国に発信 ~ 津消防団

現在、日本消防協会片山虎之助会長では、大きな課題の一つとして全国の消防団員の確保事業に全力で取り組んでいます。津市津消防団デージー分団(女性団員15名で構成)では、櫻川政子分団長が、本年2月から同年11月の間、静岡県北海道、富山県、兵庫県各道県消防協会主催の女性消防団員研修会に講師として出向し消防団員の確保などを訴えました。



研修会で熱弁する櫻川分団長 (9/19 北海道旭川市にて)

講演では、「デージーの花を咲かせて」と題し、スライドを交えて約一時間、延べ370名の女性消防団員、関係者、県等協会関係者、対象にデージー分団の分団の活躍の火災予防啓発や応急手当指導、また実火災での支援活動などを詳しく紹介しました。

講演会を受講した女性団員からは、「話全体が面白く構成され、時間を忘れてしまいました。」と絶賛の声が、また、「これを機に団員確保に向け頑張ります。」との声も、櫻川分団長は、「この機会をとらえて人との暖かい心のつながりを大切にしたい」と語っていました。

